

2025 年 11 月 (一社)日本山岳レスキュー協会 山岳救助研修会

□目的 山岳遭難救助活動を行う立場にある者を対象とし、山岳地域での救助技術を研修する

□主催 一般社団法人 日本山岳レスキュー協会

□後援 独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所

□協力 ファイントラック オーセンテックジャパン ゴールドウイン エイアンドエフ グレゴリー アライメント イワタニプリムス マジックマウンテン

ベーシックコース2日間(募集人数3名~12名) ■日程 11月8-9日(土日) 11月10-11日(月火)

■対象 (公社)日本山岳ガイド協会「自然ガイド、登山ガイド」、公的機関や民間団体の「山岳救助組織の隊員」
屋外活動における指導的立場の者

■概要 山岳救助の元になる知識・技術を学び、一般登山道およびその近辺の急斜面、尾根、谷地形にて、
基本技術のトレーニング及び参加者の実情に合わせたシナリオトレーニングを行う。

■内容 一日目:救助活動中の留意点(机上)、ロープの結び方、アンカー構築、懸垂下降、引き上げ、吊り下げ
二日目:背負搬送と補助的ショートロープ、ショートシナリオトレーニング

■研修費 ¥38,000(税込) 他経費¥8,100(税込)

アドバンスコース2日間 ■日程 11月10-11日(月火)

■対象 (公社)日本山岳ガイド協会「登山ガイド、山岳ガイド」、公的機関や民間団体の「山岳救助組織の隊員」
屋外活動における指導的立場の者で基礎的なロープワーク技術を有する者

■概要 山岳救助の元になる知識・技術を学び、一般登山道およびその近辺の急斜面、尾根、谷地形にて、
基本技術のトレーニング及び参加者の実情に合わせたシナリオトレーニングを行う。

■内容 一日目:救助活動中の留意点(机上)、アンカー構築基礎と応用、引き上げ、吊り下げ
二日目:背負搬送中の確保、ロングシナリオトレーニング

■研修費 ¥38,000(税込) 他経費¥8,100(税込)

エキスパートコース2日間 ■日程 11月8-9日(土日)

■対象 (公社)日本山岳ガイド協会「登山ガイド、山岳ガイド」、公的機関や民間団体の「山岳救助組織の隊員」
屋外活動における指導的立場の者で基礎的な山岳救助技術を有する者

■概要 山岳救助の元になる知識・技術を学び、一般登山道およびその近辺の急斜面、尾根、谷地形にて、
基本技術のトレーニング及び参加者の実情に合わせたシナリオトレーニングを行う。

■内容 一日目:救助活動中の留意点(机上)、アンカー構築、引き上げ、吊り下げ、張り込み、ショートシナリオ
二日目:背負・担架搬送中の確保、固定ロープの索道構築、ロングシナリオトレーニング

■研修費 ¥38,000(税込) 他経費¥8,100(税込)

□開催場所 山野スポーツセンター(富山県富山市本宮12)及び国立登山研修所周辺山域

□集合時間場所 山野スポーツセンター 一日目8:30集合 9:00開会式

(お車の方はセンター正面駐車場、電車の方は8:30立山駅送迎致します、8:17着でお越しください)

□解散時間場所 山野スポーツセンター 二日目15:30閉会式16:00解散(電車の方は16:30立山駅に送迎)

□募集人数 各3名~12名(3~4名に付き講師1名)

□運動危険割保険加入(研修会参加費含まれています) 保険取引先:アイビーエヌホールディングス(株)

死亡・後遺症障害200万円 入院日額5千円 通院日額 3千円 賠償責任1億円 救援者費用等 100万円

□経費詳細 夕食1300円 朝食900円 弁当1000円×2 宿泊費2900円(暖房費込) 研修所利用料500円×2

□申し込み方法 右に記載のQRコード又は、当会ホームページ申込サイトにて受付致します。

□申し込み締切 開催の7日前まで

□キャンセル規定 開催の14日前まで50% 以降当日まで100%

□主催 (一社)日本山岳レスキュー協会 〒659-0067兵庫県芦屋市茶屋之町5-20-103

TEL:0797-26-6536 MAIL:gia.jmra@gmail.com



□講師は現登山研修所講師および元登山研修所講師が担当いたします。

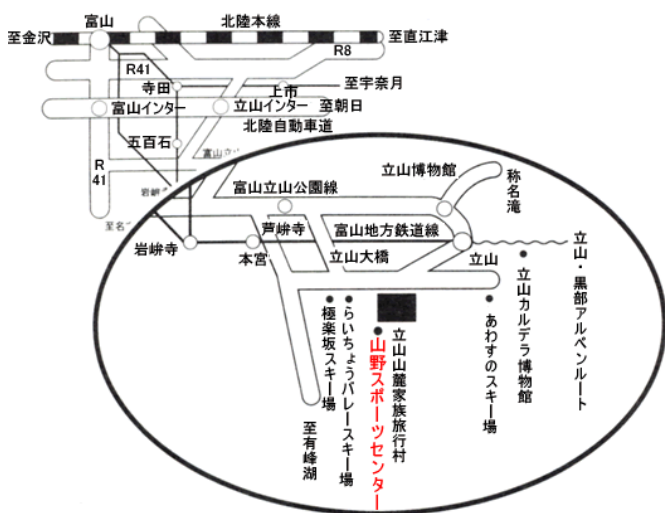
山本一夫(会長) 日本山岳ガイド協会国際ガイド		近藤邦彦 日本山岳ガイド協会国際ガイド	
小林亘 日本山岳ガイド協会山岳ガイドⅡ		高津充於 日本山岳ガイド協会山岳ガイドⅡ	
加藤智二 日本山岳ガイド協会山岳ガイドⅡ		角谷道弘 日本山岳ガイド協会国際ガイド	
奥田仁一 日本山岳ガイド協会山岳ガイドⅡ		島田和昭(理事長) 日本山岳ガイド協会山岳ガイドⅡ	

*他会員、須藤邦裕、新井健司、大場拓也、高村真司、吉田太一、北村俊之、千島康稔、松本和志、井出光俊、顧問：鈴木清彦

□参考装備

- 衣類 季節に適した登山ウェア上下、防寒着、帽子、手袋
- 行動 登山靴、ザック、ストック(要救保護用)、ピッケル(悪場補助用)、手ノコ、忌避剤(蜂、熊、蛭等)
- 飲食 二日間行動食(昼食は当方で準備)、飲料1.5ℓ以上(水500ml含む)、テルモス、浄水器
- 危急 ツェルト、タープ、バーナー&コンロ、ファーストエイドキット、予備バッテリー、インリーチ
- 救助 通常持参しているロープ・ギア類一式、ヘルメット、ハーネス
- 宿泊 室内着、体育館用靴、着替え、常備薬、充電器、筆記用具、貴重品、衛生用品、タオル

□集合場所及び宿泊施設 山野スポーツセンター(現在、登山研修所が改修工事のため)



研修会での参考図書

「図解 山岳救助技術」
(当日購入可能です)

